

高島平二・三丁目周辺地区 地区計画

令和7年6月23日付で、右図の区域において、高島平二・三丁目周辺地区 地区計画を都市計画決定しました。

地区計画の詳細については、右記の二次元コードからご確認できます。



UR 都市機構による計画概要説明会

UR 都市機構が今年の夏頃に、二丁目 33 街区の建替えにあたり、33 街区居住者(移転対象者)向けの「計画概要説明会」の開催を予定しています。詳細については、UR 都市機構から周知いたします。

まちづくりの今後の予定

交流核の形成に向けた主な取組【令和6～8年度】

① 駅前拠点エリア都市デザイン検討

- ・公共空間の基本構想・基本計画
- ・事業スキーム
- ・公共サービス機能
- ・民間事業活力の導入
- ・デザインガイドラインなど

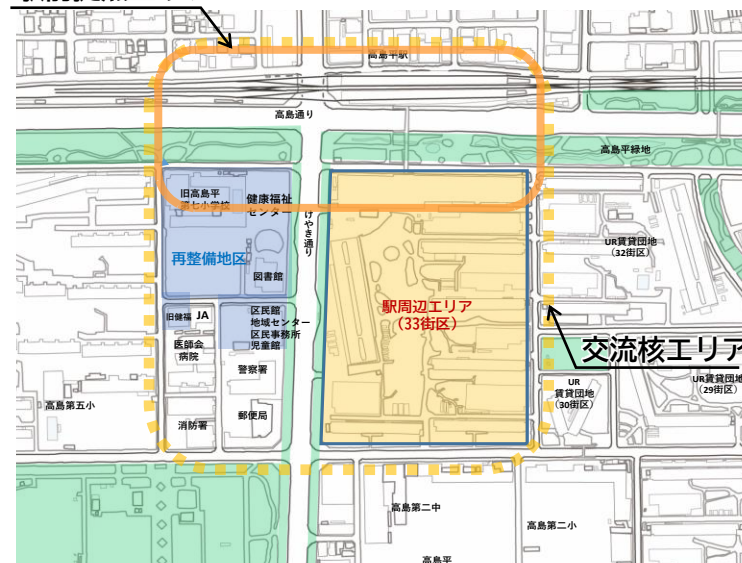
② 分野別まちづくり検討

- ・ウォーカブル推進方策
- ・交通計画
- ・駐車場地域ルール
- ・まちづくり DX など

③ デッキネットワーク検討

- ・デッキ整備の基本方針・基本計画
- ・デッキネットワークの連担スキーム
- ・デッキに関する都市計画変更に向けた検討など

駅前拠点エリア



【スケジュール(予定)】

- ・令和7年度 旧高島第七小学校・高島平健康福祉センター等の解体設計
旧高島第七小学校・高島平健康福祉センター付近の測量作業(7月頃～)
- ・令和8年度～ 旧高島第七小学校・高島平健康福祉センター等の解体工事

【(仮称)Takamachi BASE の実施について】

まちづくりの情報発信拠点の常設化に向けた試行的な取組として、(仮称)Takamachi BASE を開設します。一か月ごとに場所を変えながら、平日の五十日(ごとうび)に開催する予定です。

◎7月の開催予定

- ・日時:7/10(木)、15(火)、25(金)、30(水)の10～16時 ※12～13時は昼休憩
- ・場所:高島平駅(東口)高架下

高島平地域
まちづくりのお知らせ(かわら版)

高島第七小学校グランド
フィナーレプロジェクト 棟下式(むねおろしき)を開催しました!

令和7年3月15日(土)、旧高島第七小学校(以下「旧高七小」)にて、感謝と惜別の思いを伝える「棟下式」第一弾を開催しました。

当日は、卒業生や先生方など約500名がお越しになりました。

廊下や図工室には、代々の卒業制作や、記念誌や区の公文書館が保有する懐かしの写真が展示され、卒業制作を見ながら、「これ作ったような気がするな…」という会話や、校歌を口ずさんで、「歌えたね!」と笑いあう声も聞こえてきました。



学校の記憶として思い出の写真やパネルが展示されている記念室(校長室だった場所)は常に多くの人で賑わっており、高七小のありし日の姿を思い返していました。

図工室では、2018年に校庭で「ねぶくろシネマ」を開催し、様々な場所の棟下式を手掛けている、合同会社パッチワークス アイデア係長の唐品知浩さんを講師に迎え、「思い出の継承～高七小のグランドフィナーレとは～」をテーマとしたアーバンデザインスクールが行われました。講演後の雑談会に唐品さんも加わって頂き、卒業生やOBの先生、UDCTakで連携する大東文化大学の学生と一緒に、これからの棟下式でやりたいことのアイデア出しを行いました。

次回の棟下式でも、引き続きやりたいことのアイデア出しを行いながら、来年3月のグランドフィナーレに向けて、何ができるか皆さんと考えていきます。また、今回は校舎の開放できるエリアが限定的でしたが、徐々に増やしていく予定です。

次回は、7月5日(土)に開催します。時間や内容については、右記の二次元コードからご覧ください。

【スケジュール(予定)】

- ・令和7年7月5日(土)16時～19時 第2回棟下式
- ・令和7年10月頃 第3回棟下式
- ・令和7年12月頃 第4回棟下式
- ・令和8年3月14日(土) 第5回棟下式・グランドフィナーレ



まちづくりへの期待感を高める取組（準備ステップ）

長期にわたり段階的に進めていく高島平地域の連鎖的都市再生では、社会変化や地域のニーズを踏まえ、ステップを踏みながら、戦略的に取り組んでいきます。

まちづくりの最初の段階にあたる準備ステップでは、「旧高七小」、「高架下(東口)」、「二丁目 32 街区」の3か所において、まちづくりへの期待感を高める様々な取組を展開していきます。

多様な空間を活用した試行的な活動を展開して、日常的な活動を通じた交流を創出しながら、成果を次の段階へと活かしていきます。

準備ステップ
(高架下エリアなど)

第1ステップ
(再整備地区など)

第2ステップ
(駅周辺エリアなど)

第3ステップ以降
(再整備地区・駅周辺エリアの一部)

はじまる



旧高島第七小学校

まちに変化をもたらす再生の第一歩として、令和7年度に旧高七小等の解体設計を行い、令和8年度から解体工事に着手します。また、校庭の一部を活用し、地域の活動や交流の場となる暫定的な広場(仮称・ふらっと広場)を整備し、まちづくりの試行的な活動を展開していきます。



ひろまる



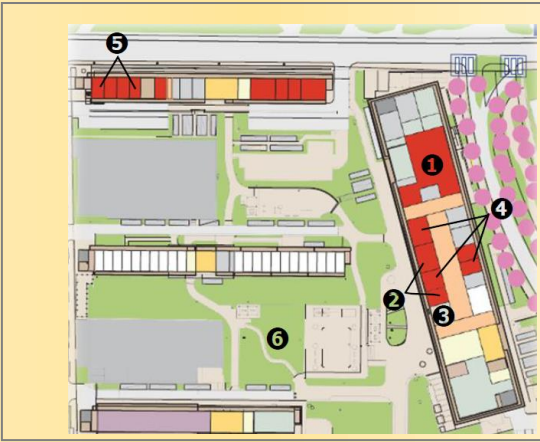
高架下空間(東口)

高島平駅の南北をつなぎ、まちづくりの情報発信やまちの魅力を向上させる交流機能を誘導し、まちづくりへの参画を促す拠点として東口の高架下を活用します。

あつまる

二丁目 32 街区(ウェルフェア拠点)

UR 高島平団地の 32 街区に集積するウェルフェア(健康福祉)機能のさらなる充実に向けて、UR 都市機構や東京都健康長寿医療センター等の関係者や庁内連携の強化により、各種施策が相乗効果を生み、シニア世代をはじめ多様な世代がいきいきと暮らすコミュニティの形成に寄与します。



【現在の主な 32 街区・ウェルフェア機能】

- ①在宅医療センター
- ②高島平ココからステーション
- ③生活支援アドバイザー
- ④クリニック・耳鼻咽喉科・調剤薬局・接骨院
- ⑤居宅介護支援事業・訪問介護サービス
・整体・マッサージ
- ⑥高島平みんなの農園